



福内 久 建設部門（土質及び基礎）

勤務先：ダイシン設計株式会社

1984年に学業を終え、以来勤務先は変われど23年間建設コンサルタント業に従事してきました。子どもの頃、母から「技術屋さんはやりがいいのある仕事だから、あなたもぜひその道に進みなさい」と言われ、特に考えもせず今の職業に就きました。後悔はしていませんが、進学時に社会における役割についてもっと知っていれば、今の自分はないと思う時があります。

近頃考えるのですが、社会には大きく分けて、人間がより快適に暮らすために創意工夫し生産するグループと、皆が平和に暮らすための活動を支えるグループに二分されると思います。自分は前者に属し、安全で安価な社会インフラを送り出すことが、役割であると考えます。毎日の仕事の中で技術者としてこの使命を強く感じ、また、そこに喜びとある時は達成感をもてるようになりました。社会に出て20年がすぎ、やっと世の中を見回して自分の足下を確認し進むことができるようになったのかと……少し遅すぎた感があります。これから先は、技術者としての使命を受け止め、それを達成できた時に感動できる生き方をしたいと思います。特に、病んでしまった地球を考え、次世代に少しでも豊かな環境を残すことが大切な課題と受け止めています。また、これから社会を担う子どもたちに、自然科学のおもしろさと技術の大切さを伝えることも、もう一つの目標です。



次号は、高田秀司さん（建設部門）



高石 富生 建設部門（道路）

勤務先：アルファ計画株式会社 TEL(0144)67-6848 FAX(0144)61-2355

私は日高管内三石町の出身です。(昨年合併によって新ひだか町になり、町名がなくなっていました。寂しい限りです。)高専卒業後、苫小牧市のコンサルタント会社に勤務して27年になります。道路・河川・農業・宅地造成（軟弱地盤）・港湾などの分野で、広く浅く調査設計や地質調査等に携ってまいりました。

四半世紀の業務の中で色々なことがありました。道道静内中札内線の調査中、目の前25m先の路上にヒグマがひょっこり現れた時にはさすがに驚きました。幸い、相手も驚いたようですぐに引き返してくれましたので事なきを得ました。苫小牧港東港の防波堤ケーソン砂マウンド調査では、調査船上で吹雪と船酔いに耐えながら海中サウンディングを実施したことなど思い出されます。

日胆地区を中心に業務をしていますが、地方には様々な問題が山積しています。特に、少子高齢化、過疎化による地方の存続・維持と防災です。平成15年の死者10名を出した台風10号豪雨災害は記憶に新しく、実際現場を歩いてみて自然の猛威と現代社会の脆さを痛感しました。

今後も技術を通して住民の安全で住みよい社会づくりに、より一層取り組んで行きたいと思います。昨年から道央技術士協議会に加えていただいて、異分野の方々とも交流させていただいております。座右の銘は「人はパンだけで生きるのではない。(聖書)」です。



次号は、伊藤優子さん（建設/総合技術監理部門）